



左から原田部長、清木さん、国井市長、玉川教育長

清木さん(末武)^(中3)が全日本コンクール2位

あなたの意見を
「新周南」に!
**“読者の声”
募集中!**



さらに「英語を完璧にマスターした上で将来はロシア語、ドイツ語も学びたい。後進を育成できる実力を身に付けていきたい」と夢を語っていました。

清木さんは中学校卒業後は通信制の高校で学びながら、第1指導者の市内在住の柿塚裕子さん、第2指導者の埼玉県在住の鈴木弘尚さんの指導を受けながらピアノに打ち込む。高卒後は関東圏の大学に進みたいという。

指していく上で大きな自信になった」と気持ちを披露。国井市長は「下松出身の国際的なピアニストを目指して頑張ってください」と激励しました。報告には原田幸雄ピアノ奏者として大きな実績を残してきた。

国際的なピアニストを目指して奮闘中の下松市の末武中3年、清木悠矢さん(15)が、国内最高峰の学生音楽コンクールの第78回全日

本学生音楽コンクール全国大会のピアノ部門中学校の部で2位になりました。11日には市役所を訪れて国井益雄市長、玉川良雄教育長ら

さんは、昨年8月の第48回ピティナ・ピアノコンペティションのジュニア部門で、ピアニストを目指す清木さんはこの日、市役所で「実りの多い1

世界に羽ばたく ピアニストに

下松